

製本のススメ

Vol. 157

連日 猛暑で夏バテしそうですね。報道では各地に災害 友人の一人は犬を連れて捜索のボランティアへ行きました。災害があると家屋や景観だけでなく多くの文化財や資料も失われてしまいます。残念なことですね。

今回は**ブックケース**の話し

記念誌を作ったら**保護のためにも函をつくりましょう!**とは言う物の函ってどんなものが良いのか悩みますね。一番簡易なものは**サック式(スリップケース)**です。サック式には2パターンあり板紙などで天地を針金止めしたものと糊貼りした物。どちらも見栄えはさほど変わりませんが、糊貼りタイプは冊子の厚みが15ミリ程度は必要です。針金タイプでも厚みは10ミリ欲しいです。

さて見栄えが良いのは**ボール保護函(貼り函)**と呼ばれるタイプで、厚手の芯材に紙やクロスを張ります。重厚感がでて作りもしっかりしていますので高級感度アップです。では、どんな時にこの函を作り分ければよいでしょうか。資金的に余裕があるとき・・・確かにそれはそうですが、作る冊子のグレードに合わせるのが一番です。中身が並製本であるのに、立派な貼り函はあまり意味がありません。また500ページもあるような上製本なのに 薄いスリップケースでは、高級感が損なわれて残念です。**どんなイメージの本なのか、その為にケースはどうするべきか企画段階で十分な提案ができる**と営業力満点です。

さて ブックケースは上記の2種類だけではありません。二部式のキャラメル函 夫婦函 小口蓋付函 タトウ式函 タトウに留め具のついた四方帙(シホチツ) 鏡帙(キョウチツ) 半袖帙(ハンソウチツ) など様々です。函にも中身同様に装飾ができますので、冊子のイメージを表現できます。

中身が良くても、身なりがだらしないと面接でのイメージダウン同様に本も凄い函に入っていると立派そうですね、少し変わった函入りなら興味をそそられます。**函の装幀は意外と大切なのです。**



Tea break

飲んだ後にのラーメンという方は多いのではないのでしょうか。ラーメンといえば、あの麺を入れて湯切りするザルの名前をご存知ですか?昔 うどん玉を入れて使ったことから[てっぽうざる]と呼ばれていたそうですが、現在は[テボ]又は「振りざる」と呼ばれているそう。ツバメ返し 天空落としなど湯切りのパフォーマンスも有名ですね。

弊社 HP は www.isekiseihon.com

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本